

社会受容性の獲得(認知活動)

in silico の社会受容性の獲得

○工業会の活動(2011年度から2012年度も継続)

- ・日本化学工業協会リスク評価技術ワーキンググループ
次期化審法改正(2014年頃)に向け、*in silico* データの利用を提言
- ・日本化粧品工業連合会:*in silico* ワーキンググループ
化粧品業界における*in silico* の理解、普及、活用

○学会の活動(2011年11月10-12日)

- ・日本動物実験代替法学会 第24回大会
シンポジウム「*in vitro/in silico* による化学物質、化粧品原料の安全性予測」の開催

社会受容性の獲得(認知活動)

自社開発技術の社会受容性の獲得

○科学的観点から意見聴取(2011年度)

当社で検討している「動物実験に依存しない化粧品の安全性保証」に関して、毒性学、皮膚アレルギー、リスク評価など9人の先生方に科学的観点から意見聴取

○「動物実験に依存しない化粧品の安全性保証に関する討論会」設立 (2012年度)

複数の先生から成る討論会を立ち上げ、「動物実験に依存しない化粧品の安全性保証」に関して議論し、科学的観点からの課題の抽出、抽出した課題を解決するための具体的なアプローチに関して議論する。

＜専門領域＞

光アレルギー、皮膚科学、皮膚アレルギー
毒性学、リスク評価、代替法